

Windows 10 Anniversary から Creator への Update

Windows 10を新しいメジャーリリースに更新すると、一部の設定がデフォルト値にリセットされることがあります。

Windows 10 Creator Update (1703) にアップデートした後に確認する設定を以下に示します。

Microsoftドメインユーザー

更新後、Microsoftドメインにログオンしたユーザーは、ドメインにもうログできなくなる可能性があります。

ローカルユーザーアカウントでログオンし、ドメインを離れる（たとえば、ワークグループに参加する）。その後、ドメインに再度参加する。（詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください）
マイクロソフトはこの問題についてまだ解決策を提示していません。

また、このログインの問題を解決するまで、Windowsの再起動とシャットダウンの問題が発生することがあります。

Mergingでは、通常のログイン状態に戻るまでMassCoreをインストールしないことをお勧めします。

通常Windowsの更新は正しく実行されますが、更新が間違っている場合があります。

残念ながら、システムの復元/ Windowsの復元はこのアップデート中に消去され、システムの復元には使用できません。

安全のために、Mergingはシステムのバックアップをとることを推奨します。

マルチブートユーザー

このアップデートにより、Windowsのブートメニューの名前が変更され、潜在的に変更されます。

ブートメニューのバックアップを実行することができます：

Visual BCD Editorをダウンロードしてインストールします。

Visual BCDを起動し、[Store]> [Backup store]を参照します。次に、ファイルを安全な場所に保存します。

Windowsが更新されたら、Visual BCDを起動し、Store> Storeを読み込みます。以前に保存したファイルをインポートします。

誤操作があった場合、Windowsが起動しなくなることがありますので注意してください。

Visual BCDエディタを使用している場合はMergingは責任を取れません。

UNINSTALL MASSCORE

アップデートの前に、まずMassCoreをアンインストールしてください：

MT Security Settings> MassCoreタブに進みます。

Uninstall MassCoreをクリックし、OKを押します。コンピュータが再起動します。

Creator 1703に更新する準備が整いました。

UPDATE WINDOWS 10 TO CREATOR

Creator Update (1703) にアップデートするには、Microsoft Updateページに移動し、Update Nowをクリックしてください。

Microsoft Updateアシスタントがダウンロードされ、起動され、指示に従います。コンピュータを数回再起動する必要がありますが、これには時間がかかります。

WINDOWS CONTROL PANEL

コントロールパネルは、[スタート]メニューからはアクセスできない。

Windows 10 Creator Update (1703) コントロールパネルにアクセスするには、Windows検索ボックスに「control panel」と入力します。

検索結果からコントロールパネルのアイコンを右クリックし、[スタート]メニューまたはタスクバーに固定することができます。

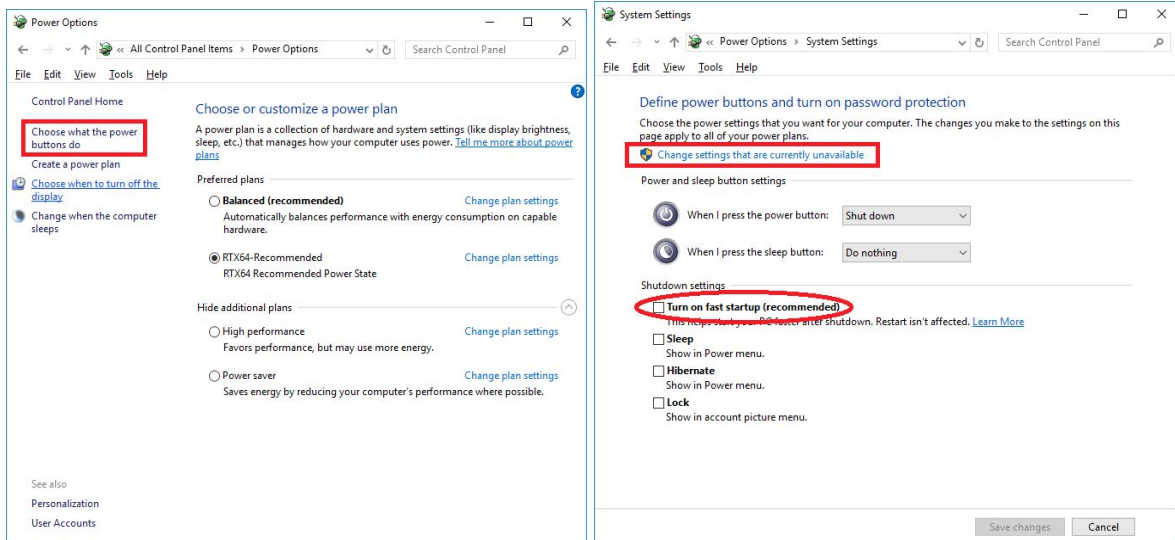
Power Options

「高速起動機能」を再度無効にする必要があります。これにより、シャットダウンを選択するとコンピュータがスリープ状態になります。

「電源オプション」ページの左側にある「電源ボタンの選択」をクリックします。

次に、「現在使用できない設定を変更する」をクリックし、「高速起動を有効にする」オプションのチェックを外します。変更を保存をクリックします。また、MassCoreエンジンでは、休止状態/スリープはサポートされていません。

また、Ovation / Pyramix ADRキーボードは、このモードをサポートしていません。



System > Advanced System Settings

System Protection tab

[コントロールパネル]> [システム]ウィンドウで、[システム保護]タブに切り替えます。

システムドライブの保護がオンになっていることを確認します。

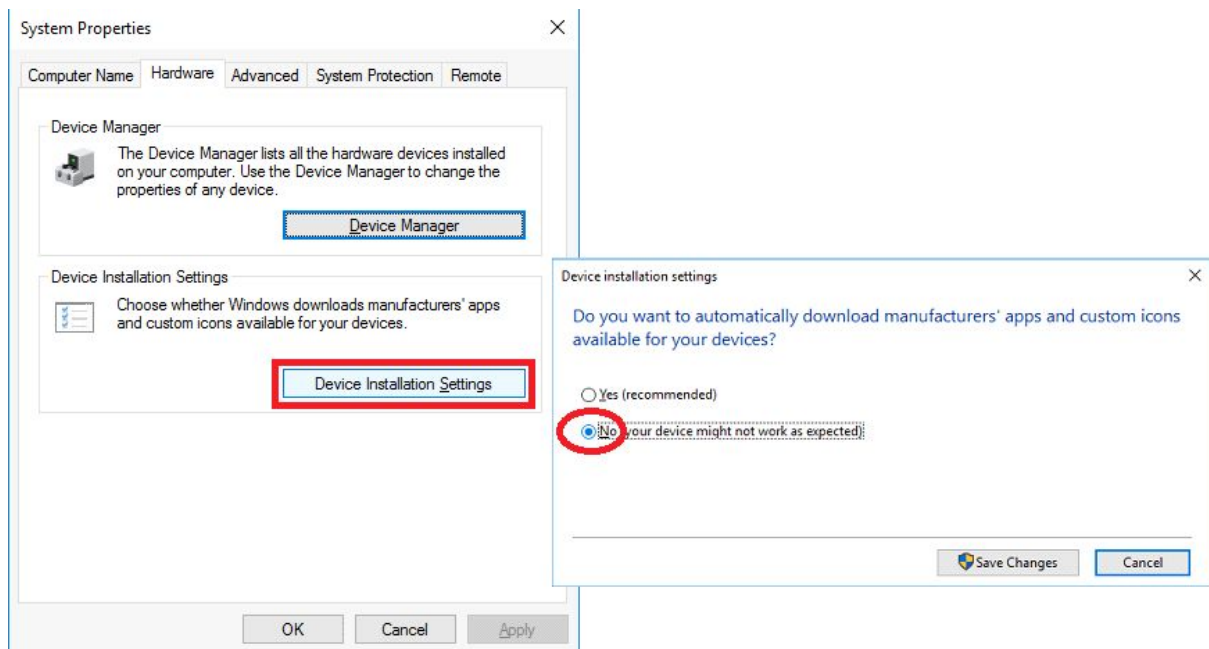
システムドライブを選択し、「構成」をクリックします。

[システム保護を有効にする]を選択し、[ディスク容量の使用率]（通常は最大10%）の値を設定します。

この機能はシステムファイルとプログラムでのみ機能するため、メディアドライブのシステム保護を無効にしてください

Hardware tab

メインのシステムウィンドウに戻り、「ハードウェア」タブに切り替えます。デバイスのインストール設定をクリックし、「いいえ、何をするかを選択してください」オプションを選択します。これにより、Windowsアップデートサービスが自動的にシステムドライバを変更するのを防ぎます。



Device Manager

ポート (COM&LPT)

9ピン-RS422接続を使用する場合：
通信ポート (COM x) > プロパティ
ポート設定]タブ> [詳細設定]> [受信バッファ]と[送信バッファ]の両方を[低]に設定します (4)

ユニバーサルシリアルバスコントローラ

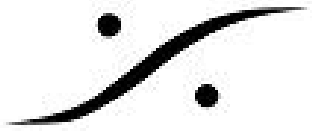
各USBルートハブを確認し、右クリックしてそのプロパティにアクセスして、電源管理を無効にします (電源管理タブ)。

ネットワークアダプタ

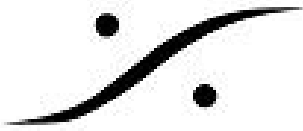
ネットワークアダプタを右クリックし、そのプロパティにアクセスして、電源管理機能を無効にします。

エネルギー効率の高いイーサネットおよびグリーンイーサネット、およびすべての省電力/電源管理機能を無効にします。

RAVENNA ASIOユーザーはWOLとシャットダウンのリンク速度をスピードを落とさないように設定する必要があります。



パフォーマンスを向上させるために、RAVENNA ASIOユーザーは専用RAVENNAネットワークアダプタを使用する必要があります。



RAVENNA ASIO recommended Network Adapter

RAVENNA ASIO ドライバは、マザーボードに搭載されている Gigabit Ethernet アダプタでも動作しますが、専用の NIC を使用することを推奨します。

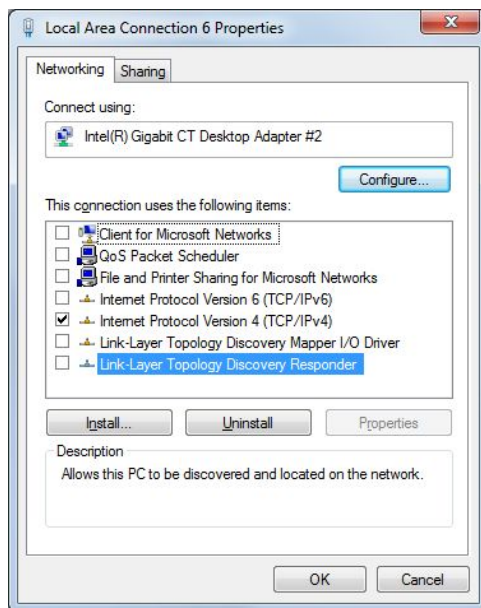
RAVENNA ASIO のパフォーマンスを向上させるには、別のネットワークカードが推奨されます。

Merging では、Intel Gigabit ネットワークアダプタを推奨します。

パフォーマンス向上のため、Windows の [コントロールパネル] > [ネットワークと共有センター] で専用ネットワークカードを設定できます。

Change Adapter Settings を選択し、カードを右クリックして Properties を選択します。

RAVENNA カードでは IP V4 プロトコルのみを有効にする必要があるため、他の Windows サービスはカードに直接干渉しません。



Windows の [コントロールパネル] > [デバイスマネージャ] で、ネットワークアダプタを探し、カードを選択してプロパティにアクセスします。

電源管理機能を無効にすることは重要です。

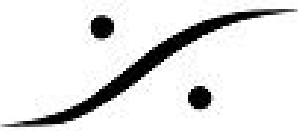
グリーンイーサネット/エネルギー効率の高いイーサネットを無効にする必要があります。

これは通常、[電源管理] タブにありますが、NIC 製造元のモデルに依存する可能性があります。

- リンクスピードをスタンバイ時に減らす設定を無効にする必要があります (特に RAVENNA ネットワーク上のスイッチを使用する場合)
- 専用の RAVENNA ネットワークカードでも Wake on LAN を無効にする必要があります (必須ではありません)

その他の注意事項 :

- ジャンボパケットはサポートされていません。
- 割り込み調整 : 無効にするとシンクジッタを減少させることがあります (デフォルトは有効)
- 受信側スケールリングを有効にする必要があります (デフォルト値)。



- 受信側のスケージングキューを1（デフォルト値）に設定する必要があります（2つのキューでパフォーマンスが非常に悪い）
- パフォーマンス・オプション：デフォルトのままにしておかなければなりません。適応フレーム間隔無効/フロー制御：RX&TX / Interrupt Moderation rate：適応（割り込み緩和が無効の場合は無効） / Receive Buffers：256 / Transmit Buffers：512。

WINDOWS SETTINGS

設定ページは、Windowsの[スタート]> [設定]アイコンで開くか、Windowsキー+iで開きます。

System

「共有エクスペリエンス」はクリエイターアップデートの新機能で、Mergingはオフに設定することをお勧めします。

Apps

この設定は以前は[システム設定]ページにありました。

アプリケーションや機能で不要なアプリケーションをすべてアンインストールすると、Windowsには不要な新しいアプリケーションがインストールされている可能性があります。一部のアプリケーションをアンインストールすることはできません（メールやカレンダーなど）。アンインストールボタンは無効になります。

Merging製品にはBonjourが必要です。アンインストールしないでください。

Gaming

- ゲームバーで、「ゲームバーを使ってゲームクリップ、スクリーンショットを記録...」をオフに設定し、「コントローラーのこのボタンでゲームバーを開きます」と「Microsoftが検証した全画面表示ゲームをプレイするときに...」のチェックは外して下さい。
- ゲームDVRでは、「ゲームのプレイ中にバックグラウンドで記録する」と「ゲームを記録するときにオーディオを録音する」の両方をオフに設定します。
- ゲームモードでは、「ゲームモードを使用する」をオフに設定します。

更新とセキュリティ：Windows Defender and antivirus

Windows Defenderが更新とセキュリティに移動しました。

以前に入力した除外項目は、再度入力する必要はありません。

クラウドベースのセキュリティはオフのままにすることができます。

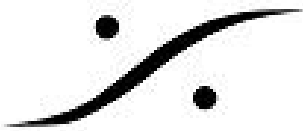
OneDrive configuration / uninstall

以前に構成されていない場合は、OneDriveを再構成する必要があります。

OneDriveを使用する場合は、ネットワークトラフィックを妨げないようにOneDriveを構成する必要があります。

通知領域の[OneDrive]アイコンを右クリックし、[設定]を選択します。

「WindowsにサインインするときにOneDriveを自動的に開始する」と「人々が私と共有したり、共有ファイルを編集するときの通知を表示する」を削除します。



[ネットワーク]タブで、[アップロード速度]と[ダウンロード速度]を[125 KB / s (またはそれ以下)]に設定します。

OneDriveを使用しない場合は、Windowsの[設定]> [システム]> [アプリケーションと機能]でアンインストールできます。

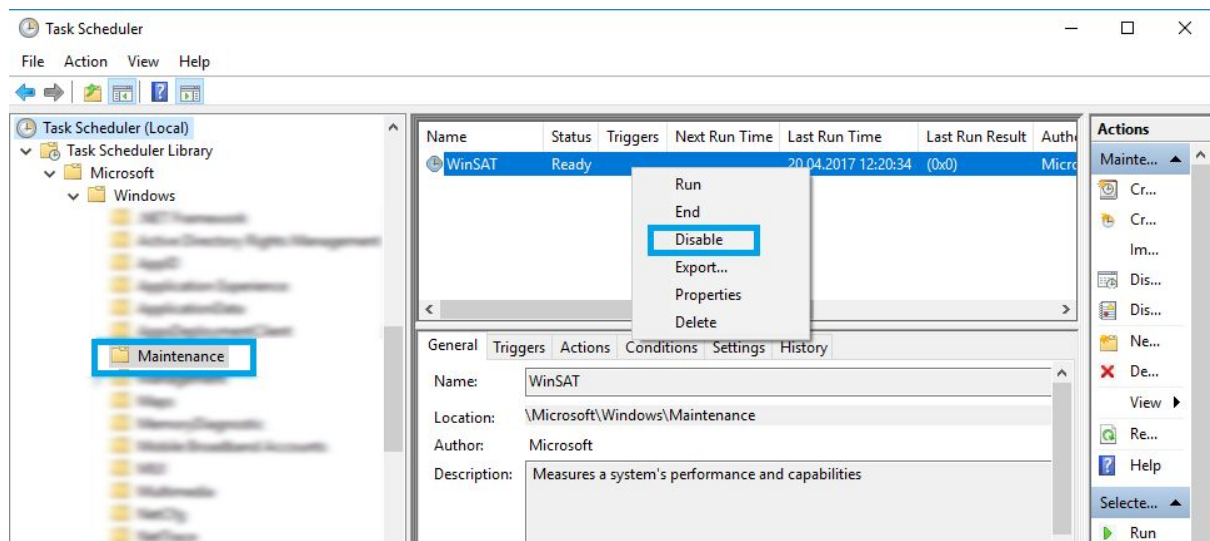
WinSAT

WinSATタスクを再度無効にする必要があります。

Windows 10では、Windowsシステムアセスメントツール (WinSAT) が以前のWindowsバージョンと比較してあまりにも頻繁に実行されるようにスケジュールされています。このツールはそれほど有用ではありません。その主な目的は、Windowsのコントロールパネル>システムページに表示されるシステムレーティングを計算することですが、ユーザーに気付かずに一部の設定を再度アクティブにすることもできます。

そのため、Mergingは無効にすることをお勧めします。

Windowsの[コントロールパネル]> [管理ツール]> [タスクスケジューラ]に移動します。
タスクスケジューラライブラリをMicrosoft> Windows> Maintenanceにブラウズします。
WinSATタスクを右クリックし、[無効]を選択します。



RAVENNA ASIO

この更新プログラムにより、Windowsネットワーク調整が有効になり、ネットワーク帯域幅に問題が発生する可能性があります。

Merging RAVENNA ASIOコントロールパネルを開いてください。設定が自動的に変更され、アプリケーションから確認メッセージが表示されます。

変更が完了したら、コンピュータを再起動します。